

令和3年12月23日

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	12月15日(水)	長崎県	漁船	衝突
	12月15日(水)	長崎県	漁船	衝突
	12月18日(土)	長崎県	漁船	浸水
	12月18日(土)	長崎県	旅客船	単独衝突
	12月19日(日)	長崎県	プレジャーボート	転覆
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	12月16日(木)	山口県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気
	12月16日(木)	山口県	マリレ以外の海浜事故	海中転落

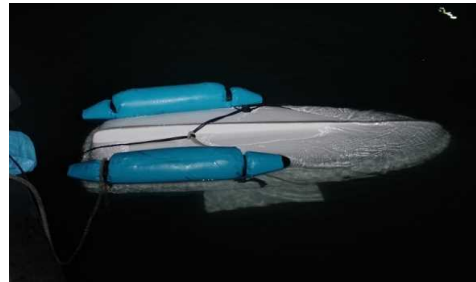
## ミニボート海難発生数2倍！

### 【問合せ先】

第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 浦川  
安全対策調整官 川部  
Tel: 093-321-2931 (内線2640)

### 【事事故例】

令和3年12月19日14:00頃、ミニボートに3名乗船し出港、沖合1キロメートル付近で遊漁中の、同日16:22頃、風浪等が次第に大きくなり、船首から波を受け続け、船内に浸水してきた。3名で、排水作業を開始したものの、さらに大波を受け転覆し、3名ともに海中転落したもの。海中転落後、118番通報し、救助された。事故当日は、北北西の風5メートル、波高0.5メートルであった。(3名とも救命胴衣着用)



2021年12月20日現在、ミニボートの海難発生数は26隻と前年と比べ倍増しており、過去10年間では最多の年となっています。

船舶免許及び船舶検査の必要が無い、ミニボートであっても操船するあなたが船長です。ボートの安全運航はもとより乗員の命を預かっています。

ミニボートを運航する際には以下のことに気を付けましょう。

### 【過去10年間のミニボート発生数】

年	ミニボート(隻)
2012	6
2013	9
2014	11
2015	5
2016	9
2017	10
2018	11
2019	17
2020	13
2021	26

### ◆ミニボートに乗船時の注意事項

#### ・気象・海象に注意しましょう。

ミニボートは「波高20cm以上」「風速4m/s以上」で安全に運航できないと言われています。

事前に必ず気象情報を確認しましょう。また、実際の海上では、天候不良の場合もあります。気象・海象に少しでも不安を感じた場合は、出航しない勇気、早めに帰港する判断も必要です。

荒天により水船状態となったミニボート



ミニボートでは急に立ち上がらない

#### ・船のバランスに注意しましょう。

ミニボートは、船体が小さく軽量のため、揺れやすく不安定です。乗員や荷物の配置に注意し、重量が片方だけにならないようにしましょう。また、船上で立ち上がると、重心が高くなりバランスが悪く、海中転落する危険が高まります。移動する際は、他の乗員に声をかけ、バランスに注意し、出来るだけ低い姿勢で動きましょう。

#### ・見張りを確実にしましょう。

海上では、様々な方向から危険が迫ってきます。釣り中であっても見張りを行い、他船の接近や浅瀬等への接近に注意しましょう。また、ミニボートはその小ささから、他船からの視認がされづらいため、他船から見えやすくする備えが必要です。他船が接近して来ている場合は、自ら早めに大きく避航しましょう。また、自船の存在を示すために認識旗の掲揚や明るい服装を着ましょう。



この他にも、ミニボート乗船時の注意事項はたくさんあります。下記の二次元コードから注意事項や知っておくべき知識などを身に付け、安全運航に努めましょう。

詳しくは、HP「ウォータセーフティガイドのミニボートに関する情報」を確認しましょう。

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/miniboat/index.html>

